

令和2年度厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策政策研究事業

「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発
ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班

分担研究報告書

研究分担課題名：HIV感染妊娠に関する研究の統括と成績の評価および妊婦のHIV感染に関する
認識度の実態調査」

研究分担者：喜多恒和 奈良県総合医療センター
周産期母子医療センター兼産婦人科、センター長兼統括部長

研究協力者：宮木康成 医療法人緑風会三宅おおふくクリニック 院長
Medical Data Labo 代表

佐道俊幸 奈良県総合医療センター 産婦人科 部長
多田和美 独協医科大学医学部・大学院 産婦人科学講座 講師
石橋理子 奈良県総合医療センター産婦人科 医長
吉野直人 岩手医科大学微生物学講座感染症学・免疫学分野 准教授
杉浦 敦 奈良県総合医療センター産婦人科 副部長
田中瑞恵 国立国際医療研究センター小児科 医員
山田里佳 JA 愛知厚生連 海南病院産婦人科 外来部長
定月みゆき 国立国際医療研究センター産婦人科 産科医長
大津 洋 国立国際医療研究センター 臨床研究センターサイエンス部
臨床疫学研究室長
桃原祥人 JA とりで総合医療センター産婦人科 部長
外川正生 大阪市立総合医療センター小児総合診療科・小児救急科 部長
戸谷良造 和合病院 副院長
塚原優己 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター産科 診療部長
和田裕一 宮城県産婦人科医会 理事

研究補助員：榎本美喜子 奈良県総合医療センター産婦人科

研究要旨：

各分担研究の進捗状況を分担研究者間で相互評価し、各研究分担の研究計画を適時修正した。ホームページの継続的運営によりマニュアル・ガイドラインや学会発表スライドの公開および社会的情報の拡散を行い、医療従事者および国民のHIV感染妊娠に関わる認識と知識の向上を図った。HIVスクリーニング検査の偽陽性にかかわる妊婦の混乱を回避するために、医療機関に受診する妊娠初期の妊婦を対象に、HIVスクリーニング検査に関する基礎知識とスクリーニング検査が陽性であった場合の反応についてアンケート調査を行った。過去4年間のアンケート調査結果から、妊婦の知識レベルは非常に低いことは判明しており、リーフレットや小冊子の配布などによる情報提供等、何らかの介入が必要であろうことが推察されている。令和2年度では大学病院1か所、公的病院2か所、市中病院1か所、有床診療所2か所の定点施設および奈良市内の有床診療所5か所の妊婦を対象とし、妊娠初期妊婦にA3折込型リーフレット「クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ」

を配布し、通読を促したうえでアンケート調査を行った。リーフレットを読んでいたのは、定点施設では45.0%、奈良市内有床診療所では82.4%で、共にそのうちの90%以上の妊婦がリーフレット内容を50%以上理解できていた。近年の梅毒患者の増加や梅毒感染妊婦の治療効果および風疹ワクチンの効果を問う設問に対しては、80%以上の正答率を示したことから、妊婦はこれらの知識をすでに持っていたのか、リーフレット配布の効果であるのかは確認が必要である。しかしながら、HIVスクリーニング検査の偽陽性について知識があるものは定点施設で6.6%、奈良市内有床診療所でも5.9%にとどまり、過去4年間の定点調査の結果と比べて上昇は認められなかった。この原因は、リーフレット通読前の知識を確認するような設問文にあると推測され、2021年度に修正することとした。さらにスクリーニング検査で陽性と告げられた際に、50%以上が非常に動揺すると回答し、本アンケートを行うことでHIV母子感染について95%以上があらたな知識を得たと回答したことから、HIVスクリーニング検査に関する妊婦の知識レベルは非常に低いと考えられ、妊婦へのリーフレット配布などによる教育効果が期待できることを示している。そしてHIV感染に関するリーフレットや小冊子などの配布という情報の普及啓発法の開発により医療従事者や一般国民へ介入することが、国民全体の知識レベルの向上につながることをアンケート調査の継続により検証できると考えられた。

A.研究目的

1. 各分担研究の進捗状況を分担研究者間で相互評価する。
2. ホームページの継続的運営により研究成果を公開する。
3. HIVスクリーニング検査の偽陽性にかかわる妊婦の混乱を回避する適切な対策を提案する。

B.研究方法

1. 研究分担者相互による研究計画評価会議や、研究協力者も加えた研究班全体会議を適時行い、各研究分担の進捗状況と成績を相互評価し、年度ごとあるいは年度にまたがる研究計画の修正を行った。
2. ホームページの継続的運営により研究成果や最新情報を公開することで、HIV感染妊娠に関わる国民の認識と知識の向上に寄与した。
3. 地域や医療レベルの異なる分娩取り扱い施設の妊婦に対し、A3折込型リーフレット「クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ」を配布し、通読を促したうえでHIV感染に関するアンケート調査を実施した。アンケートでは偽陽性に関

する理解度など妊婦の知識レベルの変化を把握し、教育啓発活動に資することとした。妊婦アンケート調査の対象施設は、①大学病院；獨協医科大学病院（栃木県）、②公的病院；奈良県総合医療センター（奈良県）・都立大塚病院（東京都）、③市中病院；成増産院（東京都）、④有床診療所；松田母子クリニック（埼玉県）・伊東レディースクリニック（大分県）の定点6施設および奈良市内の有床診療所5施設とした。定点施設はすべて研究分担者あるいは研究協力者が所属する施設とした。資料1に妊婦へのアンケート調査依頼文を、資料2にアンケート調査回答用紙を、資料3に妊娠初期健診時に事前配布したリーフレットを示す。

（倫理面への配慮）

当班の研究ではHIV感染に関わる産科医療と小児医療および社会医学の中で行われることから、基本的に「倫理面への配慮」は欠くべからざるものである。細心の注意をもって対処した。調査研究においては、平成29年2月改正告示の文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守しプライバシーの保護に努めた。

C.研究結果

1. 研究代表者、研究分担者およびアドバイザーによる研究計画評価会議および研究班全体会議は、それぞれ年2回開催した。令和2年度はそれぞれ5月23日(土)と12月11日(金)および7月19日(日)と2021年3月13日(土)に、すべてウェブ会議として開催した。各研究分担の研究計画を再検討し、これを修正した。産科・小児科班によるHIV感染妊娠の発生に関する全国調査や報告症例のデータベースの管理をIT化し、データの共有化と解析の迅速化を目指した。

2. ホームページの運営では、「HIV感染妊娠に関する診療ガイドライン」2017年度初版や「HIV母子感染予防対策マニュアル」2018年度第8版をはじめ、A3折込型リーフレット「クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ」2019年度版や小冊子「HIVや梅毒をはじめとする性感染症のすべてが簡単にわかる本」2020年度版などの教育啓発資料、さらに研究報告書や各種学会発表スライド、社会的最新情報なども掲載した。さらにホームページの閲覧状況を毎月経時的に把握し、掲載内容の更新と閲覧数の変動を解析することにより、ホームページの啓発効果を検討した(資料4)。閲覧数は月間2000前後で推移しており、Q&Aのコーナーが約70%以上を占め、次いでガイドライン・マニュアル・リーフレットとHOMEのコーナーが10%前後で多く、資料ダウンロードや研究報告書のコーナーの閲覧数は少なかった。新情報の掲載による閲覧数の変動は明確ではなかった。

3. 妊娠初期の妊婦を対象としたHIVスクリーニング検査に関するアンケート調査の令和2年度の結果は、定点施設を表1に、今年度初めて行った奈良市内の有床診療所を表2に示した。今年度はリーフレットの事前配布やアンケート調査内容の追加や新型コロナ対策などの諸事情により、調査回答期間が1か月程度となったため、定点施設では121例と十分な回答数が

得られなかったが、奈良市内有床診療所においては迅速な協力が得られ、119例と年間分娩数に見合った回答数を得ることができた。解析結果では、定点と奈良市内でそれぞれ、HIVが母子感染することを知っていたのは83.5%と81.5%であったものの、スクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていたのは54.5%と56.3%で、さらにスクリーニング検査が陽性であっても、95%以上は偽陽性であることを知っていたのは、たった6.6%と5.9%であることが判明した。スクリーニング検査が陽性であった場合、確認検査結果が出るまでの1週間は非常に動揺すると回答したのが52.9%と55.6%におよび、今回のアンケート調査により知識が増えたと回答したのが95.9%と98.3%もあった。また定点施設においては、これまでの4年間の調査結果と比較しても、大きな変動はなく、特にスクリーニング検査偽陽性の認識率は、リーフレットを事前配布したにもかかわらず改善が認められなかった。さらに、過去にも同様のアンケート調査を受けた妊婦は1例のみで、ほとんどが初回回答であったことも確認した。今年度のアンケートではリーフレットの事前配布に関する設問を追加した。その結果、アンケート前にリーフレットを読んでいたのは、定点で45.0%(未配布修正後65.1%)、奈良市内で82.4%もあり、既読者のうち理解度が50%以上と回答したのは定点・奈良市内共に90.8%と高率であった。近年の梅毒患者の増加や梅毒感染妊婦の治療効果および風疹ワクチンの効果を問う設問に対しては、80%以上の正答率を示した。

D.考察

1. 本研究班では、全国の産科・小児科を標榜する多数の医療施設を対象とした疫学調査とその解析を骨幹としている。さらにHIV感染女性を対象としたコホート調査やアンケート調査も行い、医療者向け診療ガイドラインや母子感染予防対策マニュアルの策定・改訂、さらに

は HIV をはじめとする性感染症の情報を提供するリーフレットや小冊子の刊行などの国民への教育啓発法の開発も行っている。研究分担班内での研究推進のみならず、研究計画評価会議による研究分担者間での軌道修正は、各分担研究課題の完遂と成果をより高めることに有効であったと考える。

2. 本研究班の活動内容を適時公開することは、国民への教育啓発に直結することから、各種の情報掲載による HP の更新を頻回に行い、閲覧者の最も多い入り口である Q&A コーナーの改訂と内容追加、他の関連学会や団体の HP とのリンクなどが必要である。HP の認知度が上昇し閲覧数が増加すれば、その変動の解析は、情報発信の効果を検証できると推測されることから今後積極的な解析を進める予定である。

3. 妊婦へのアンケート調査から、妊婦の HIV 感染に関する知識レベルは経時的にも地域的にも非常に低いまま経過している。しかしリーフレットの配布を伴うこのアンケート調査は、妊娠女性への教育啓発として意義あるものと考えられる。したがって定点調査施設やその周囲の分娩取扱施設において、妊娠初期妊婦にリーフレットなどを配布することで、妊婦の知識レベルの向上に寄与できると考える。さらにアンケート中の設問文を修正し、リーフレットの配布効果を正確に検証できるよう検討する。また、近年の梅毒患者の増加や梅毒感染妊婦の治療効果および風疹ワクチンの効果を問う設問に対しては、80%以上の正答率を示したことから、妊婦はこれらの知識をすでに持っていたのか、リーフレット配布の効果であるのかは確認が必要である。

E. 結論

研究代表者、研究分担者およびアドバイザーによる複数回の研究計画評価会議により、研究計画の修正と確実な研究遂行が可能となった。しかしながら、妊婦においては HIV 感染妊娠に関する知識レベルは低く、ホームページの充実

や若者向けのリーフレットや小冊子の発行ならびに SNS やマスコミの活用などによる情報伝達効果の向上を図る必要がある。より適切で有効な教育啓発法の開発とそれらの効果の検証が必要であると考えられた。

G. 研究業績

著書

1. 白野倫徳、山田里佳、喜多恒和: 産科編 II. 妊娠関連疾患 HIV 感染症. 臨床婦人科産科 2020 増刊号 産婦人科処方ofのすべて 2020 症例に応じた実践マニュアル 医学書院 東京 pp288-290, 2020
2. 喜多恒和: E. 女性医学 6. 感染症 5) STI (5) HIV. 産婦人科専門医のための必修知識 2020 年度版 (編集・監修 公益社団法人日本産科婦人科学会) 株式会社杏林舎 東京 ppE88-E90, 2020
3. 佐道俊幸: B. 周産期 7. 合併症妊娠 3) 血液疾患合併妊娠. 産婦人科専門医のための必修知識 2020 年度版 (編集・監修 公益社団法人日本産科婦人科学会) 株式会社杏林舎 東京 ppB103-B105, 2020
4. 田中瑞恵: 小児の HIV 感染症. 今日の小児治療指針第 17 版 (水口雅編) 医学書院 東京 pp.330, 2020
5. 田中瑞恵: HIV 感染症. 小児感染免疫学 (一般社団法人日本小児感染症学会編) 朝倉書店 東京 pp.534-541, 2020
6. 外川正生: HIV 陽性の母親から生まれた児に対する予後管理. HIV 感染症「治療の手引き」日本エイズ学会 (HIV 感染症治療委員会 編) 日本エイズ学会 HIV 感染症治療委員会 東京 pp.34-35, 2020
7. 田中瑞恵: 小児、青少年期における抗 HIV 療法 (四本美保子、白阪琢磨編) 抗 HIV 治療ガイドライン 令和 2 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業 抗 HIV 治療ガイドライン HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究班

東京 in press

8. 吉野直人、田中瑞恵、岩動ちず子、伊藤由子、大里和広、小山理恵、杉浦敦、喜多恒和。HIV 感染児の診療に関する全国調査。日本エイズ学会誌 in press

論文

1. 佐道俊幸、石橋理子、喜多恒和：特集/【必携】専攻医と指導医のための産科診療到達目標 病態・疾患編【合併症妊娠】血液疾患：特発性血小板減少性紫斑病。周産期医学 50：1435-1437, 2020
2. 喜多恒和、吉野直人、杉浦 敦、田中瑞恵、山田里佳、定月みゆき、桃原祥人、大津 洋：HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究。令和元年度厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業の企画と評価に関する研究 総括研究報告書 福武勝幸編 116-119, 2020
3. 山田里佳、白野倫徳、谷口晴記、喜多恒和：HIV 母体管理—分娩管理を含めて。小児内科 52：96-100, 2020
4. 田中瑞恵：HIV 母体児への対応とフォローアップ。小児内科 52：101-104, 2020
5. 島田真実、田中瑞恵、大田倫美、渥美ゆかり、本田 真梨、吉本優里、大熊喜彰、兼重昌夫、瓜生英子、山中純子、水上愛弓、五石圭司、佐藤典子、七野 浩之：結核とリンパ球性間質性肺炎の鑑別に肺生検が有用であった HIV 感染児の二例。日本小児科学会雑誌 124: 1107-1113, 2020
6. 山田里佳、谷口晴記：HIV 感染症。臨床と微生物 48：71-76, 2021
7. 杉野祐子、定月みゆき、谷口 紅、鈴木ひとみ、池田和子、大金美和、中西美紗緒、菊池 嘉、岡 慎一：国立国際医療研究センター (NCGM) における挙児希望 HIV 感染女性の妊娠方法。日本性感染症学会学会

誌 in press

学会発表

1. 杉浦 敦、市田宏司、山中彰一郎、竹田善紀、佐久本 薫、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、太田 寛、喜多恒和：本邦での HIV 感染妊娠の分娩様式に関する検討。第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会。東京 (Web)、2020.4
2. 田中瑞恵、外川正生、兼重昌夫、細川真一、寺田志津子、前田尚子、七野浩之、吉野直人、杉浦 敦、喜多恒和：小児 HIV 感染症の発生動向および診断時の状況の変遷。第 34 回日本エイズ学会学術集会。Web、2020.11
3. 岩動ちず子、吉野直人、伊藤由子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、杉浦 敦、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、喜多恒和：HIV および妊婦感染症検査実施率の全国調査。第 34 回日本エイズ学会学術集会。Web、2020.11
4. 伊藤由子、吉野直人、杉浦 敦、岩動ちず子、大里和広、小山理恵、高橋尚子、田中瑞恵、谷口晴記、山田里佳、桃原祥人、定月みゆき、喜多恒和：HIV スクリーニング検査実施率と妊娠中後期での再検査の検討。第 34 回日本エイズ学会学術集会。Web、2020.11
5. 定月みゆき、杉野裕子、蓮尾泰之、林 公一、五味淵英人、中西 豊、中西美紗緒、源 奈保美、中野真希、山田里佳、吉野直人、杉浦 敦、田中瑞恵、大津 洋、喜多恒和：HIV 感染妊婦への診療体制の現状と経膈分娩導入への課題。第 34 回日本エイズ学会学術集会。Web、2020.11
6. 杉浦 敦、市田宏司、竹田善紀、山中彰一郎、中西美紗緒、箕浦茂樹、松田秀雄、高野政志、桃原祥人、小林裕幸、佐久本 薫、太田 寛、石橋理子、藤田 綾、吉野直人、田中瑞恵、外川正生、喜多恒和：HIV 母子

感染例に関する検討. 第 34 回日本エイズ学会
会学術集会. Web、2020.11

H.知的財産権の出願・登録状況

- | | |
|----------|----|
| 1.特許取得 | なし |
| 2.実用新案登録 | なし |
| 3.その他 | なし |

資料1 妊婦へのアンケート依頼文

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)スクリーニング検査に関するアンケート調査のお願い

この度、令和2年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究」班(研究代表者:喜多恒和、奈良県総合医療センター産婦人科)が行っている研究の一部として、HIV母子感染についての知識の確認およびHIVスクリーニング検査の方法の妥当性について検討することを目的として、妊婦さんを対象としたアンケート調査を行うことになりました。この調査は当センターの倫理委員会で、その科学性・倫理性が審議され承認されたものですが、調査回答を強制するものではありませんし、回答いただけない場合でも何ら不利益をこうむることはありません。以上をご理解いただき、そのうえでどうか協力いただけますようお願いいたします。

1. 調査の方法

- 1)対象者:妊娠初期妊婦(妊娠初期検査を行う方)
- 2)調査の方法:アンケート方式
- 3)個人情報の保持:このアンケートでは個人を特定できる情報を集積しておらず、個人情報が漏洩することはなく、また集積データから個人を特定することも不可能です。
- 4)調査期間:2021年3月~2024年3月
- 5)集積情報の解析と報告:毎年度の研究報告書に結果を掲載し、その一部あるいは全部が厚労省ホームページおよび研究班ホームページで一般公開されます。

2. 調査および情報管理の責任

奈良県総合医療センター産婦人科 喜多恒和

〒630-8581 奈良県奈良市七条西町 二丁目 897-5 Tel:0742-46-6001 Fax:0742-46-6011

3. 調査に参加することにより予想される利益と起こるかもしれない不利益

1)予想される利益

アンケート調査をおこなうことで HIV 感染妊娠に関するわが国の社会的現状を把握でき、一般国民の知識向上につなげることができます。

(2)起こるかもしれない不利益

本調査に参加することで、身体的・経済的な不利益はありません。

4. 患者さんの費用負担について

本調査は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業によって行われます。アンケート調査に参加することでの診療に伴う費用負担が増えることはなく、報酬もありません。

5. 担当医師の連絡先

この調査について疑問や質問がありましたら、アンケート実施施設の担当医師に遠慮なくお問い合わせ下さい。

HIV スクリーニング検査にかかわるアンケート

以下の質問にお答えいただき、該当するものに○をお書きください。

① HIV が母子感染(妊娠中に母体から赤ちゃんに感染)するということを知っていましたか

1. はい
2. いいえ

② HIV のスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか

1. はい
2. いいえ

③ HIV スクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性(詳しく調べると実際は感染していない:1万人のうち31人がスクリーニング検査で陽性となりますが、そのうち30人は確認検査の結果は陰性)であることを知っていましたか

1. はい
2. いいえ

④ HIV スクリーニング検査で陽性とした場合、確認検査の結果が出るまでに1週間ほどかかります。その期間についてどのように想像しますか。

1. 非常に動揺する
2. 動揺はするが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる
3. あまり気にならない

⑤ このアンケートにお答えいただいた方の年齢をおしえてください

- | | |
|------------|------------|
| 1. 20歳未満 | 4. 30歳～34歳 |
| 2. 20歳～24歳 | 5. 35歳～39歳 |
| 3. 25歳～29歳 | 6. 40歳以上 |

⑥ このアンケートにお答えいただいた方の出産回数をおしえてください

1. 0回
2. 1回
3. 2回以上

⑦ このアンケートで、HIV 感染についての知識は増えましたか

1. 増えた
2. 増えなかった
3. 以前にもこのアンケートを受けたことがある

リーフレット『クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ』についてお答えください。

⑧ リーフレットをお読みいただきましたか

1. もらっていない
2. 読んだ
 - ↳ どれくらい内容を理解できましたか
 - ・80%以上 ・50%以上 ・30%以上
 - ・ほとんど理解できなかった
3. もらったが読んでいない



⑨-1 性感染症にはエイズ(HIV 感染)、性器ヘルペスなどたくさんありますが、ここ数年梅毒患者は急増していますか

1. はい
2. いいえ

⑨-2 妊婦さんが梅毒にかかっていると赤ちゃんに重大な影響を及ぼしますが、妊娠中に治療すれば治すことができますか

1. はい
2. いいえ

⑩ 性感染症以外にも母子感染して赤ちゃんに重大な影響を及ぼす病気がたくさんあります。中でも風疹は赤ちゃんに難聴や、心臓の病気などが現れることがありますが、妊娠前のワクチン接種で防ぐことができますか

1. はい
2. いいえ

ご協力ありがとうございました

第1問 に入る正しい言葉は？
下のa～iから選んでね

●セックス（性行為）をすると、する可能性と相手からをうつされるリスクがある。
●は避妊と性感染症の予防に効果がある。
●は避妊には有効だけど、性感染症の予防には無効。
●オーラルセックスは性感染症の病原体を性器だけでなくや、さらには目にも運ぶ役目をするところがあるから要注意。
●あなたが性感染症に感染していたら、も感染していることが多いので、を受けてもらおう。
●エイズウイルスの検査で「陽性」と出ても、偽陽性である場合がほとんどで、「真の陽性」は分の1しかない。

a 口 b ビル c 検査 d 性感染症 e 妊娠 f 30
g コンドーム h 相手 i のど

第2問 セックスの安全度判定！
あなたのセックス観はどっち？
自分の気持ちに近い方を選んでね

1 セックスの相手は本気で好きな人だけ **VS** セックスの相手は何人いてもいい

2 妊娠したくない場合はコンドームなしのセックスは断わる **VS** ビルを飲んでいればコンドームなしのセックスもOK

3 相手が求める行為がイヤな場合は「イヤだ」と言う **VS** 相手が求める行為は、多少「イヤだな」と思っても受け入れる

4 性感染症にかかってしまったら、相手にも伝えて二人で治療を受ける **VS** 性感染症にかかってしまったら、治療はするけど、相手には言わない

【第1問の正解】 edgbaincf
【第2問の判定】
●全問左を選んだ人→基本的なことをちゃんと理解しているね。実際の場面でもこのように行動できれば、セックス安全度は高い。次は第5問へ。
●右を1～3個選んだ人→右側のような考え方は、どれも自分の身を守るためには選んでいい。セックスの安全度を高めるためにもっと知識を！ 次は第4問へ。
●全問右を選んだ人→実際の場面でもこの通りに行動するとしたら、かなり危険だよ。セックスについて、自分の身を守るという面から考えてみよう。次は第3問へ。

クイズでわかる性と感染症の新ジョーシキ

あなたはどこまで理解しているか！?

エイズは過去のもの？
性感染症は感染しにくい？
赤ちゃんに影響する？
コンドームをつければ絶対安心？
予防接種は子どもの時にするもの？

こちらからどうぞ

こちらからどうぞ

HIV 母子感染予防研究会

第1問 に入る正しい言葉は？
下のa～iから選んでね

●はセックス（性行為）でうつし、うつされる病気だ。
●はと性感染症を防ぐ効果があるので、子どもがほしい場合以外は、自分のためにもつけたほうがいい。
●は性感染症のを口やのど、目に運ぶ役目をするところがあるから要注意だ。
●アナルセックスはしやすいから感染リスクを高める。
●自分が性感染症に感染していたら、も感染していることが多いので、を受けてもらおう。
●エイズウイルスの検査でと出ても、本当は感染していない人がほとんどなので、二次検査で確認する必要がある。

a 陽性 b 病原体 c 検査 d 性感染症 e 相手
f コンドーム g オーラルセックス h 妊娠 i 出血

第2問 セックスの安全度判定！
君のセックス観はどっち？
自分の気持ちに近い方を選んでね

1 セックスの相手は本気で好きな人だけ **VS** セックスの相手は何人いてもいい

2 子どもがほしい場合以外は、最初から最後までコンドームをつける **VS** コンドームはつけたくないし、避妊しなければ女性がビルを飲めばいい

3 セックスの時は相手の気持ちや体調を気づかうようにしている **VS** セックスの時は自分のしたい行為を相手に受け入れさせる

4 性感染症にかかってしまったら、相手にも伝えて二人で治療を受ける **VS** 性感染症にかかってしまったら、治療はするけど、相手には言わない

【第1問の正解】 d f h g b i e c a
【第2問の判定】
●全問左を選んだ人→セックスって一方通行の行為じゃないから、相手を思いやるのが大切だね。君はそのことを理解しているみたいだ。実際の場面でもこのように行動できれば、セックスの安全度は高い。次は第5問へ。
●右を1～3個選んだ人→1番でも右側のような考え方をしていたら危ないよ。セックスの安全度を高めるためには勉強が必要だよ！ 次は第4問へ。
●全問右を選んだ人→実際の場面でもこの通りに行動するとしたら、とても危険だよ。セックスを、自分と相手のからだを守る、という面から考えてみよう。次は第3問へ。

第3問 性感染症の基本を押さえよう！
正しい、正しくない、を○×で答えてね。

1 性感染症というのは、性行為で感染する病気のことだ。

2 性感染症はフーズクなどの性産業で働く人とその利用者がかるる病気だ。

3 性感染症は1種類ではなく、何種類もある。

4 性感染症は性器とその周りがかゆくなったり、プツツができる病気だ。

5 性感染症は治療しなくても時間がたてば治る。

6 性感染症は1回のセックスでも感染することがある。

【第3問の正解】
1-○ 2-× セックス経験者なら、だれでも感染の可能性がある。 3-○ 4-× 症状が全身に広がるものもあるし、症状が全然出ないものもある。だから、知らない人にうつってしまったら、うつされてしまうということがおきやすいんだ。
5-× 自然に治るものもあるけど、病原体は体内に残るので再発しやすい。 6-○

性感染症は「身近にある病気」だということがわかった？
セックスする時には病気の予防（うっさいない、うっさいない）心がけよう。
もしも気になる症状があったら、迷わずお医者さんに診てもらおうね！

第4問 性感染症をもっと具体的に知ろう！
次の問題にチャレンジ！ ちょっと難しいかも…。

1 この中で性感染症はどれ？ 3個あるよ。
①インフルエンザ ②痛風 ③梅毒 ④日陰瘡 ⑤O-157 感染症 ⑥HIV感染症 ⑦クラミジア感染症 ⑧アトピー性皮膚炎
回答欄 ()

2 性感染症を引き起こす病原体（ウイルスや菌など）がいる可能性があるのは？ 複数回答可。
①精液 ②血液 ③陰 ④陰茎 ⑤口の中
回答欄 ()

3 性感染症について無料で相談できるのはどこ？
①日本赤十字社の献血ルーム ②保健所 ③地域包括支援センター
回答欄 ()

4 性感染症の治療を受けるにはどこに行けばいい？ 4個選んでね。
①内科 ②外科 ③産婦人科 ④泌尿器科 ⑤眼科 ⑥耳鼻咽喉科 ⑦胃腸科 ⑧精神科 ⑨皮膚科
回答欄 ()

5 性感染症の予防に役立つのはどれ？
①コンドーム ②ビル ③陰外射精
回答欄 ()

【第4問の正解】
1-③⑥⑦ 性感染症にはもっとたくさんの種類があるよ。
2-全部 ⑤には普通はないけど、オーラルセックスで病原体が運ばれることがある。
3-② 保健所では必要なら無料で検査もしてくれる。もちろんお医者さんに行ってもいい。ただし有料だよ。
4-①③④⑨ 受診のきっかけにもよるけど、男性は①④⑨、女性は①③④⑨に行けばいい。そのあと、医師が必要に応じて別の科に紹介状を書くこともあるよ。⑤や⑥で性感染症が発見されることもある。
5-① ②は避妊はできるけど性感染症予防には役立たない。③は性感染症の予防もできないし、避妊効果も怪しいね。

以上がわかっていれば、感染リスクを回避する行動がとれるし、何かあっても対処できるね。

第5問 将来のために知っておこう！
(a) (b) の正しい方を○で囲んで文を完成させよう。

1 性感染症の中には、治療しないしていると、男性は（a 無気力症候群 b 無精子症）、女性は（a 不感症 b 不妊症）になるものがある。

2 性感染症の中には、妊婦さんが感染していると、流産・早産や（a 初産 b 死産）になるものがある。

3 性感染症の中には、妊婦さんが感染していると、生れてくる（a 赤ちゃん b 小児）も感染してしまうものがある。

4 妊婦さんやお母さんの病気が赤ちゃんに感染することを（a 空気感染 b 母子感染）といい、赤ちゃんが胎内にいる間だけでなく、（a 出産 b 入浴）の時や、母乳をあげる時にもおきる可能性がある。

5 妊婦さんが（a 妊娠初期 b 妊娠中期）に風疹にかかると、赤ちゃんが心臓や目などの病気、難聴などの障害を持って生まれてくる可能性が高くなる。

6 日本の風疹患者の9割は（a 幼児 b 成人）で、男女別では（a 男 b 女）が（a 男 b 女）の約4倍多い。

7 風疹・麻疹・水痘の感染予防には、ワクチンの（a 治療 b 接種）が効果的だ。

【第5問の正解】
1-b b 2-b 3-a 4-b a 5-a 6-b a b 7-b

知ってれば防げた病気が原因で、望んでも子どもができなかったり、生れてきた赤ちゃんが障害を負ったりしたら、つらいよね。性感染症は、そういうことの原因になる可能性があるんだ。

性感染症以外にも、母子感染して赤ちゃんに重大な影響をおよぼす病気はたくさんある。その中でも、風疹・麻疹・水痘はワクチン接種で予防できる病気だ。今まで風疹に感染したことも発病したこともなくて、予防接種も受けていない人は（男性も女性も）予防接種を受けておこう。麻疹と水痘についても同じだよ。

男性も女性も、感染症の予防のために今すぐ必要な行動をとろう。
さあ、次は裏面を読んで知識を整理しておこう！

資料 4 HP 閲覧数 (2021 年 1 月 - 2 月)



表1 妊娠初期妊婦に対するアンケート結果（定点施設）

施設名	大学病院		公的病院		市中病院	有床診療所		合計	(参考) 前々々回合計 (H28年度)	(参考) 前々々回合計 (H29年度)	(参考) 前々々回合計 (H30年度)	(参考) 前回合計 (R1年度)
	獨協医科大学	奈良県総合 医療センター	都立大塚病院	成増産院	伊東レディース クリニック	松田母子 クリニック						
回答数	10	17	0	94	0	0	121	136	395	314	439	
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。												
1:はい	9 (90.0%)	13 (76.5%)	0 (0.0%)	79 (84.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	101 (83.5%)	121 (88.3%)	321 (81.5%)	254 (80.9%)	356 (81.1%)	
2:いいえ	1 (10.0%)	4 (23.5%)	0 (0.0%)	15 (16.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (16.5%)	16 (11.7%)	73 (18.5%)	60 (19.1%)	83 (18.9%)	
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。												
1:はい	7 (70.0%)	5 (29.4%)	0 (0.0%)	54 (57.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	66 (54.5%)	71 (52.2%)	212 (53.8%)	150 (47.8%)	214 (48.7%)	
2:いいえ	3 (30.0%)	12 (70.6%)	0 (0.0%)	40 (42.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	55 (45.5%)	65 (47.8%)	182 (46.2%)	164 (52.2%)	225 (51.3%)	
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。												
1:はい	3 (30.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (5.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (6.6%)	9 (6.6%)	21 (5.3%)	15 (4.8%)	29 (6.6%)	
2:いいえ	7 (70.0%)	17 (100.0%)	0 (0.0%)	89 (94.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	113 (93.4%)	127 (93.4%)	373 (94.7%)	299 (95.2%)	410 (93.4%)	
④HIVスクリーニング検査で陽性となった場合、確認検査の結果が出るまで1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。												
1:非常に動揺する	6 (60.0%)	12 (70.6%)	0 (0.0%)	46 (48.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	64 (52.9%)	72 (52.9%)	203 (51.8%)	148 (47.1%)	215 (49.1%)	
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていたら検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	4 (40.0%)	5 (29.4%)	0 (0.0%)	37 (39.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	46 (38.0%)	49 (36.0%)	156 (39.8%)	123 (39.2%)	181 (41.3%)	
3:あまり気にならない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (11.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (9.1%)	15 (11.0%)	33 (8.4%)	43 (13.7%)	42 (9.6%)	
⑤年齢												
1:20歳未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)	2 (1.5%)	4 (1.0%)	5 (1.6%)	4 (0.9%)	
2:20歳～24歳	2 (20.0%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	9 (9.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	13 (10.7%)	9 (6.6%)	30 (7.6%)	29 (9.3%)	34 (7.7%)	
3:25歳～29歳	2 (20.0%)	3 (17.6%)	0 (0.0%)	18 (19.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (19.0%)	24 (17.6%)	76 (19.3%)	65 (20.8%)	104 (23.7%)	
4:30歳～34歳	1 (10.0%)	4 (23.5%)	0 (0.0%)	44 (46.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	49 (40.5%)	52 (38.2%)	146 (37.2%)	120 (38.3%)	151 (34.4%)	
5:35歳～39歳	4 (40.0%)	6 (35.3%)	0 (0.0%)	19 (20.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29 (24.0%)	36 (26.5%)	106 (27.0%)	78 (24.9%)	104 (23.7%)	
6:40歳以上	1 (10.0%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	3 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (5.0%)	13 (9.6%)	31 (7.9%)	16 (5.1%)	42 (9.6%)	
⑥出産回数												
1:0回	5 (50.0%)	10 (58.8%)	0 (0.0%)	46 (48.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	61 (50.4%)	71 (52.2%)	171 (43.5%)	169 (54.0%)	216 (49.2%)	
2:1回	5 (50.0%)	5 (29.4%)	0 (0.0%)	27 (28.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	37 (30.6%)	49 (36.0%)	156 (39.7%)	99 (31.6%)	148 (33.7%)	
3:2回	0 (0.0%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	21 (22.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	23 (19.0%)	16 (11.8%)	66 (16.8%)	45 (14.4%)	75 (17.1%)	
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。												
1:増えた	9 (90.0%)	17 (100.0%)	0 (0.0%)	90 (95.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	116 (95.9%)	130 (95.6%)	380 (97.2%)	301 (96.2%)	411 (93.8%)	
2:増えなかった	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (3.3%)	6 (4.4%)	11 (2.8%)	10 (3.2%)	23 (5.3%)	
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.8%)			2 (0.6%)	4 (0.9%)	
⑧リーフレットをお読みいただきましたか。												
1:もらっていない	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	37 (39.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	37 (30.8%)					
2:読んだ	8 (80.0%)	7 (43.8%)	0 (0.0%)	39 (41.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	54 (45.0%)					
3:読んでいない	2 (20.0%)	9 (56.3%)	0 (0.0%)	18 (19.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	29 (24.2%)					
⑨「2:読んだ」を選択した人の理解度												
理解度 80%以上	3 (37.5%)	5 (71.4%)	0 (0.0%)	20 (51.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	28 (51.8%)					
理解度 50%以上	4 (50.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	16 (41.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	21 (38.8%)					
理解度 30%以上	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (5.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (3.7%)					
ほとんど理解できず	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)					
⑩-1 性感染症にはエイズ(HIV感染)、性器ヘルペスなどたくさんありますが、ここ数年梅毒患者は急増していますか。												
1:はい	8 (80.0%)	10 (76.9%)	0 (0.0%)	62 (81.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	80 (80.8%)					
2:いいえ	2 (20.0%)	3 (23.1%)	0 (0.0%)	14 (18.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	19 (19.2%)					
⑩-2 妊婦さんが梅毒にかかっていると赤ちゃんに重大な影響を及ぼしますが、妊娠中に治療すれば治すことができますか。												
1:はい	8 (80.0%)	12 (92.3%)	0 (0.0%)	57 (79.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	77 (81.1%)					
2:いいえ	2 (20.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	15 (20.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	18 (18.9%)					
⑩風疹の母子感染は妊娠前のワクチン接種で防ぐことができますか。												
1:はい	8 (80.0%)	14 (100.0%)	0 (0.0%)	76 (95.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	98 (94.2%)					
2:いいえ	2 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (5.8%)					

表2 妊娠初期妊婦に対するアンケート結果（奈良市内有床診療所）

施設名	有床診療所					合計
	H医院	N産婦人科	O産婦人科	Tクリニック	T産婦人科	
回答数	29	33	21	4	32	119
①HIVが母子感染するということを知っていましたか。						
1:はい	23 (79.3%)	25 (75.8%)	19 (90.5%)	3 (75.0%)	27 (84.4%)	97 (81.5%)
2:いいえ	6 (20.7%)	8 (24.2%)	2 (9.5%)	1 (25.0%)	5 (15.6%)	22 (18.5%)
②HIVスクリーニング検査を妊婦健診で行うことを知っていましたか。						
1:はい	14 (48.3%)	18 (54.5%)	13 (61.9%)	1 (25.0%)	21 (65.6%)	67 (56.3%)
2:いいえ	15 (51.7%)	15 (45.5%)	8 (38.1%)	3 (75.0%)	11 (34.4%)	52 (43.7%)
③HIVスクリーニング検査で陽性の結果でも、95%以上は偽陽性であることを知っていましたか。						
1:はい	3 (10.3%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (9.4%)	7 (5.9%)
2:いいえ	26 (89.7%)	32 (97.0%)	21 (100.0%)	4 (100.0%)	29 (90.6%)	112 (94.1%)
④HIVスクリーニング検査で陽性とした場合、確認検査の結果が出るまでに1週間かかるが、その期間についてどのように想像しますか。						
1:非常に動揺する	15 (51.7%)	17 (51.5%)	10 (47.6%)	3 (75.0%)	20 (62.5%)	65 (55.6%)
2:動揺するが、偽陽性率が高いことを知っていれば検査の結果が出るまで落ち着いて待てる	12 (41.4%)	12 (36.4%)	11 (52.4%)	1 (25.0%)	10 (31.3%)	46 (39.3%)
3:あまり気にならない	2 (6.9%)	4 (12.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	6 (5.1%)
⑤年齢						
1:20歳未満	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2:20歳～24歳	3 (10.3%)	1 (3.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (4.2%)
3:25歳～29歳	8 (27.6%)	8 (24.2%)	11 (52.4%)	1 (25.0%)	7 (21.9%)	35 (29.4%)
4:30歳～34歳	14 (48.3%)	18 (54.5%)	6 (28.6%)	1 (25.0%)	12 (37.5%)	51 (42.9%)
5:35歳～39歳	4 (13.8%)	5 (15.2%)	3 (14.3%)	2 (50.0%)	11 (34.4%)	25 (21.0%)
6:40歳以上	0 (0.0%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	3 (2.5%)
⑥出産回数						
1:0回	15 (51.7%)	15 (45.5%)	10 (47.6%)	1 (25.0%)	14 (43.8%)	55 (46.2%)
2:1回	10 (34.5%)	9 (27.3%)	6 (28.6%)	2 (50.0%)	10 (31.3%)	37 (31.1%)
3:2回	4 (13.8%)	9 (27.3%)	5 (23.8%)	1 (25.0%)	8 (25.0%)	27 (22.7%)
⑦このアンケートでHIV感染についての知識は増えましたか。						
1:増えた	28 (96.6%)	32 (97.0%)	21 (100.0%)	4 (100.0%)	32 (100.0%)	117 (98.3%)
2:増えなかった	1 (3.4%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)
3:以前にこのアンケートを受けたことがある	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
⑧リーフレットをお読みいただきましたか						
1:もらっていない	0 (0.0%)	1 (3.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (6.3%)	3 (2.5%)
2:読んだ	26 (89.7%)	23 (69.7%)	19 (90.5%)	3 (75.0%)	27 (84.4%)	98 (82.4%)
3:読んでいない	3 (10.3%)	9 (27.3%)	2 (9.5%)	1 (25.0%)	3 (9.4%)	18 (15.1%)
⑨で「2:読んだ」を選択した人の理解度						
理解度 80%以上	20 (76.9%)	11 (47.8%)	11 (57.9%)	1 (33.3%)	16 (59.3%)	59 (60.2%)
理解度 50%以上	4 (15.4%)	11 (47.8%)	6 (31.6%)	1 (33.3%)	8 (29.6%)	30 (30.6%)
理解度 30%以上	1 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	3 (11.1%)	5 (5.1%)
ほとんど理解できず	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
⑩-1 性感染症にはエイズ(HIV感染)、性器ヘルペスなどたくさんありますが、ここ数年梅毒患者は急増していますか。						
1:はい	26 (89.7%)	28 (93.3%)	20 (100.0%)	3 (75.0%)	25 (83.3%)	102 (90.3%)
2:いいえ	3 (10.3%)	2 (6.7%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	5 (16.7%)	11 (9.7%)
⑩-2 妊婦さんが梅毒にかかっていると赤ちゃんに重大な影響を及ぼしますが、妊娠中に治療すれば治すことができますか。						
1:はい	23 (82.1%)	25 (83.3%)	19 (95.0%)	3 (100.0%)	25 (86.2%)	95 (86.4%)
2:いいえ	5 (17.9%)	5 (16.7%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	4 (13.8%)	15 (13.6%)
⑩風疹の母子感染は妊娠前のワクチン接種で防ぐことができますか。						
1:はい	28 (96.6%)	30 (100.0%)	19 (95.0%)	3 (100.0%)	30 (100.0%)	110 (98.2%)
2:いいえ	1 (3.4%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)